

2010.9.4

生誕150年

最後のシンフォニスト マーラー

第3回

プログラム

今年生誕150年に当たるマーラーを特集するシリーズの第3回目、今回は交響曲第3番です。マーラーはオーストリア郊外のアルプスのふもとにあるシュタインバッハという村にたてこもってこの曲を書きました。圧倒的な自然の風景に靈感を得て作曲されたと言われていますが、生命が誕生していない自然から、動植物、人間を経て天国的な世界へ至るまでを6つの楽章で表しています。マーラーの最高傑作と呼んでも良い作品ですが、特に最終楽章はあらゆるシンフォニーの中でも最も美しく感動的な楽曲のひとつと言って良いでしょう。

「珠玉の小品」コーナーは20世紀を代表するヴァイオリニストで作曲家のクライスラーの小品を5曲聴いて頂きます。どの曲も情緒豊かで愛らしい作品です。またサン・サーンスの「序奏とロンド・カプリチオーソ」は当時の天才ヴァイオリニスト、サラ・サーテに献呈された作品で、ヴァイオリンの魅力が最大限に発揮された名曲です。マーラーと合わせてお楽しみください。

★珠玉の小品 コーナー

フリッツ・クライスラー (1875~1934):

ウィーン奇想曲

ウォルフガング・シュナイダーハン(ヴァイオリン) / ブリジット・アンジェレル(ピアノ)
(1982.5.8 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive)

美しきロスマリン

ミツシャ・エルマン(ヴァイオリン) / ジョセフ・セイガー(ピアノ)
(1960.6録音 ヴァンガード盤)

ベートーヴェンの主題によるロンティーノ

愛の悲しみ

イツァーク・パールマン(ヴァイオリン) / サミュエル・サンダース(ピアノ)
(1978録音 EMI盤)

愛の喜び

キヨン・ファ・チヨン(ヴァイオリン) / ジョナサン・フェルドマン(ピアノ)
(1983. 11.2 東京文化会館大ホールでのLive)

クスタフ・マーラー (1860~1911):

交響曲第3番ニ短調 ~ 第1楽章

ガリー・ベルティーニ指揮ケルン放送交響楽団
(1990.11.20 サントリーホールでのLive)

*** 休憩 ***

クスタフ・マーラー (1860~1911):

交響曲第3番ニ短調 ~ 第4楽章、第5楽章、第6楽章

フローレンス・クイヴァー (アルト)
ガリー・ベルティーニ指揮ケルン放送交響楽団 / 東京少年少女合唱隊
(1990.11.20 サントリーホールでのLive)

★珠玉の小品 コーナー

カミーユ・サン＝サーンス (1835~1921):

序奏とロンド・カプリチオーソ op.28

シュロモ・ミンツ (ヴァイオリン)
リッカルド・シャイー指揮ベルリン放送交響楽団
(1984.3.12 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive)